

東日本大震災被災県中学校の取組

岩手県釜石市立釜石東中学校

1. 本校の概況（震災時および現在の様子）

1 震災時の様子

(1) 生徒数等

- ・生徒数 217名
- ・学級数 7学級（内特別支援学級1）

(2) 被害状況

- ・学校施設 校舎全壊
- ・人的被害 生徒1名死亡（当日欠席生徒） 保護者 10世帯13名死亡
- ・住居被害 家屋全壊生徒 123名 半壊 16名 教職員家屋全壊 6名

2 現在の様子（平成27年4月現在）

※平成24年度より仮設校舎で学校を再開し現在に至る。なお、平成29年4月に新校舎にて学校再開の予定。

(1) 生徒数等

- ・生徒数 143名
- ・学級数 6学級（内特別支援学級1）

(2) 生徒の状況

- ・震災により保護者を亡くした生徒 8名
- ・仮設住宅入居者 約40%（みなし仮設含む）
- ・スクールバス通学者 60%

2. 学校の写真



釜石東中学校の仮設校舎。右の建物が主に普通教室。左の建物が特別教室

3. 特色ある取組

1 これまでの防災の取組を学ぶ

震災後、生徒のこころのケアや日常の学校生活を取り戻すことで精一杯であり、防災教育に十分に取り組むことができていなかった。そこで、本校の防災教育を担ってきた教員を講師として招き、防災に取り組んできた先輩方の思いや取組の様子をお話いただき、今後の防災についてみんなで考える機会とした。

2 宝来館のおかみさんから学ぶ

宝来館は地元の旅館であり、被災から立ち上がって再建を果たした。また、おかみさんは地域の復興のための活動に取り組んでいる。そのおかみさんから「自分たちが動かなければ何も動かない。自分の故郷をつくるためには智恵を出し自分で動くこと」という言葉を聞き、自分たち自身の復興への思いを確認することができた。

3 地域貢献活動―「助けられる人から助ける人へ」の実践―

本校では震災時に多くの方から支援を受けた。そこで、「助けられる人から助ける人へ」を合い言葉として取り組んでいる。その取組の1つとして、3年生の総合的な学習の時間に自分たちで様々な地域貢献活動を考え実践した。

4 他県の生徒との交流活動

東京都荒川区の中学生、大阪市の中学生が来校し、互いの防災の取組の様子や中学生としての役割について協議し交流を行った。

4. 取組の写真など



【宝来館のおかみさんから学ぶ】



【地域貢献―岩手国体推進室を訪問しての取材活動】



【他県の生徒との防災についての交流活動】



【本校の防災の取組を学ぶ学習】